

かほく あい こども園だより 8月号

令和4年7月29日 第5号

社会福祉法人 敬愛信の会

かほく あい こども園

発行責任者 園長 志田 道広



養育環境を整えることの大切さ

人間の能力は、**遺伝と環境**の影響を大きく受けると言われます。

遺伝という言葉を知ると、「やっぱりそうだな。」とあきらめてしまいがちですが、先天的なそれも、その後の環境の良し悪しで大きく違いが出る、環境の成長への影響がきわめて大きいということは様々な研究で立証されています。

幼児教育にあっても、環境づくりは重要なポイントです。幼児期の子どもは、自分で環境を整えたり、変えたりすることができませんから、**子どもの発達**の状況や個性・特性に合わせて、**周りの大人が環境づくり**することが大切であるとなるわけです。

ただ難しいのは、先月号でも似たようなことを話題にしましたが、大人が介入しすぎる（環境を整えすぎる）と『**子どもの主体的な活動**』を阻害してしまうところです。**子どもの心が自然と動いて、自分から活動したくなるような働きかけ**（環境作り）が大切で、その意味では、大人の**環境作り感覚**が問われることになりそうです。

代表的な4つの環境として次のようなものがあげられます。

【人的環境】

信頼できる身近な大人、様々な個性をもつ同世代の友達、生活基盤で共に生きる地域の方々

【物的環境】

安全な空間、集中して思いきり活動できる場、程よい刺激ある環境

※心が落ち着く物の配置・色使い、適した玩具、適切な温度や採光等、その子に関わる全て

【自然的環境】

日常的に動物や植物などの『自然』と触れ合える生活空間

※菜園を取り入れたり、自然素材を置いたり、また、自然的環境を求めて公園などに出向いて。

【社会的環境】

刺激多い地域社会（外社会）での経験や体験、新たな人との刺激ある出会い

これらの状況を意図的に作り出すことで、子ども達は好奇心を刺激され、より深い感動体験を得ることにつながり、脳が活性化され、好影響を及ぼすとされています。

少し意識して子どもを見てほしいものです。

職員退職と後任人事のお知らせ

4年間に在職しておりました庄司宏和事務長は、7月末日で退職となります。大変お世話になりました。

後任の事務は、鷲尚子です。どうぞよろしくお願ひいたします。

（別紙でもお知らせしております）

お盆期間中の保育について

お盆前後の出欠アンケートのご協力ありがとうございました。

12～17日は、お休みを取られるお子さんが多いことから、年次をまたいだ合同保育の時間が長くなりますことをご了承ください。

また、12日（金）～16日（火）の登降園バスは運休、13日（土）の昼食はお弁当のご協力をお願いいたします。



8月の予定



- 2日(火) 園外活動日(年長児)
- 4日(木) 誕生会
- 5日(金) 身体測定(1・2歳児)
- 8日(月) 身体測定(年少児)
- 9日(火) 身体測定(年中・年長児)
- 10日(水) すいかわり大会
おにぎりの日
- 12日(金) 布団持ち帰り日
※お盆の休みに入る前に持ち帰ります。
- 12日(金)～16日(火)
登降園バス運休
- 13日(土) **お弁当の日**
- 25日(木) カレークッキング(年長児)
- 26日(金) 避難訓練
布団持ち帰り日
- 31日(水) かもしかクラブ(年長児)

※新型コロナウイルスの状況により、
行事が変更になる場合があります。

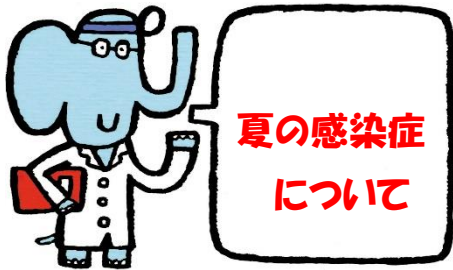
7月の にこにこわくわく



地域の方からカブトムシをいただきました。
事務室前のカウンターでは、カブトムシの動きにみんな興味津々です！



水遊び、プール遊びが始まりました。
夏ならではの遊びを楽しんでいます！



夏の感染症 について

日々の体調管理、感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

夏は、高温多湿を好むタイプのウイルスが流行しやすい時期です。夏に流行する主な感染症には次のようなものがあります。

《ヘルパンギーナ》

- ・コクサッキーウイルス
- ・潜伏期間は2～4日間
- ・症状
高熱が出て喉の奥に水疱ができ、痛みが強く飲み込みにくくなるため、水分不足に注意が必要です。

《フル熱(咽頭結膜炎)》

- ・アデノウイルス
- ・潜伏期間は4～5日間
- ・症状
高熱とのどの痛みがあります。充血、涙目、目ヤニなど結膜炎のような症状や、下痢、嘔吐、頭痛などを伴うこともあります。

《手足口病》

- ・コクサッキーウイルス
- ・潜伏期間は3～5日間
- ・症状
手のひらや足の裏、口などに赤い水疱ができます。発熱することもあります。

《はやり目(流行性結膜炎)》

- ・アデノウイルス
- ・潜伏期間は1～2週間
- ・症状
瞼の腫れ、白目の充血、目の痛みなどが出ます。ひどくなると発熱や下痢、耳のあたりのリンパ節に腫れが見られることもあります。

高熱が出る感染症が流行しやすくなります。また、夏かぜに多いのどの痛みは脱水症状につながることもあります。熱が出た時は、**解熱後24時間経過し、全身症状が良くなったことを確認してからの登園**をお願いいたします。